

○睡眠障害研究

睡眠障害研究については、堀忠雄所長を中心とし、不眠や睡眠時無呼吸症候群（SAS）に関する調査、睡眠環境の相談（枕相談等）・カウンセリング事業などを実施し、堀所長のカウンセリングは 12 月末までにのべ 50 回実施、枕相談は 47 件実施した。

また、明神館脳神経外科と協力した研究事業として、睡眠時無呼吸症候群（SAS）患者のうち、軽度または中等度の患者において、いびきや無呼吸は体位依存性が強いことに着眼し、横向き用自動昇降枕の使用効果調査を開始した。この結果については 10 月に京都で開催された第 36 回日本睡眠学会で発表した。この調査は現在も継続しており、引き続き学会等で発表していく予定である。

○脳卒中・血管内治療研究

脳卒中・血管内治療研究グループについては、脳神経センター大田記念病院と協同し、脳卒中患者の臨床情報を蓄積した「脳卒中データバンク」を用いた臨床研究などを引き続き実施中である。

○市民健康啓発事業

市民公開講座として、4 月に大田理事長が福山生涯学習プラザにて「塩と水のおはなし」という演題で講演し、100 名を超える市民が聴講した。同会場において東北大震災募金活動も実施し、聴講者からの募金 27,580 円を日本赤十字社に寄附した。9 月 21 日の世界アルツハイマーデーには福山市医師会大会議室にて大田記念病院の栗山勝院長と共に認知症予防の講演、11 月 23 日には福山ニューキャッスルホテルで 450 名に対し大田理事長が講演を行い、いずれも好評を得た。

講師派遣業は、石垣海上保安部からの依頼により、7 月に 50 名あまりの保安部職員に生活習慣病に関する講演を開催し、既に次回の依頼も来ている。

また、大田理事長による長年のめまい外来診療経験をまとめた「私のめまい外来」を出版し、広大・岡大大学院、福山市内の医師・看護師や福山市図書館、老人大学等に寄贈した。

学会発表：

●Kaneyuki M, Kaihara K, Nagahisa K, Yumite M, Ota A. Effects of elevating head-of-bed on blood pressure and carotid blood flow in acute ischemic stroke patients. International Stroke Conference, 2012, Los Angeles, U.S.

●Fujii Y, Otsuki T, Fukushima T et al. The relationship between blood glucose fluctuation and neurological outcome in acute ischemic stroke patients. International Stroke Conference, 2012, Los Angeles, U.S.

●大田浩右、大田章子、貝原共子、木村泰久、森美幸、大島恵美、三嶋邦恵、堀忠雄  
「体位依存性の睡眠時無呼吸症候群に対する寝返り対応自動調整枕の有用性について」, 第 36 回日本睡眠学会 ; 2011 . 10 . 15 - 16 京都,日本 .